



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年2月10日

上場会社名 ケミプロ化成株式会社 上場取引所 東
コード番号 4960 URL <https://www.chemipro.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 兼俊 寿志
問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 徳地 昭博 TEL 078 (393) 2524
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の業績 (2024年4月1日～2024年12月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	7,412	8.1	323	△14.8	143	33.2	96	3.9
2024年3月期第3四半期	6,857	△6.8	380	6.5	108	△40.5	93	△22.1

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	6.03	—
2024年3月期第3四半期	5.77	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第3四半期	13,476	4,757	35.3	295.56
2024年3月期	13,713	4,679	34.1	293.03

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 4,757百万円 2024年3月期 4,679百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
2025年3月期	—	0.00	—	—	—
2025年3月期 (予想)	—	—	—	3.50	3.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の業績予想 (2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,800	6.1	480	△0.5	200	50.5	140	11.0	8.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期3Q	16,623,613株	2024年3月期	16,623,613株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	526,596株	2024年3月期	653,969株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期3Q	16,042,297株	2024年3月期3Q	16,135,944株

- (注) 1. 期末自己株式数には、信託が保有する当社株式（当第3四半期累計期間526,527株）を加算しております。
2. 期中平均株式数（四半期累計）は、自己名義所有株式分を控除する他、信託が保有する自己株式（当第3四半期累計期間581,247株）を控除して算定しております。

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定等については、添付資料P3「1.経営成績等の概況（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期累計期間における経済情勢は、米国経済は、引続き底堅く推移した一方、欧州及び中国経済の停滞状況は変わらず、加えて地政学的リスクの長期化もあるなど、全体として引き続き不安定な状況で推移しました。

このような経済環境の中で、当社の属するファインケミカル業界につきましては、需要は昨年度後半の水準が継続していましたが、一部の分野ではやや陰りも見え始め、また、原材料価格やエネルギーコストは依然として高い水準が続いており、厳しい状況で推移しました。当社においては、昨年度前半に大きく落ち込んだ売上の反転や一部製品について需要回復の動きや先行受注もあり売上は増加しましたが、利益面では引き続き厳しい環境下にあります。

具体的な当第3四半期累計期間における当社の売上高は、化学品事業では、昨年度、グローバルマーケットにおける在庫調整により低調な水準であった紫外線吸収剤が増収となったほか、酸化防止剤の販売拡大をはじめ、受託製造製品の増収もあり、事業全体として増収となりました。ホーム産業事業では、消費マインド低迷が続きましたが拡販に努め、前年同四半期を僅かに上回りました。結果、売上高全体では、前年同四半期比554百万円増の7,412百万円（前年同四半期比8.1%増）で着地いたしました。利益面では、価格転嫁の取り組みを推し進めたものの、当初想定した各種コストの高騰に加え、昨今の更なる高騰もあり、原材料をはじめとする全てのコスト高騰を吸収するには至らず、営業利益は323百万円（同14.8%減）となりました。工場の稼働状況が改善し、営業外費用として計上される生産休止費用は、前年同四半期と比較し91百万円圧縮されたものの140百万円を計上し経常利益は143百万円（同33.2%増）となり、税引前四半期純利益については、特別損益の計上がなかったことから経常利益と同額の143百万円（同5.9%増）となりました。四半期純利益については、法人税、住民税及び事業税が29百万円、法人税等調整額が17百万円となり96百万円（同3.9%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(化学品事業)

当第3四半期累計期間の売上高は、主力製品である紫外線吸収剤が前年同四半期比109百万円増の3,732百万円（前年同四半期比3.0%増）となったことに加えて、酸化防止剤が同231百万円増の656百万円（同54.6%増）、受託製造製品が同200百万円増の1,818百万円（同12.4%増）、製紙用薬剤が同37百万円増の193百万円（同24.2%増）、写真薬中間体が6百万円増の188百万円（同3.3%増）となる一方で、電子材料が同32百万円減の26百万円（同55.1%減）となり、全体では同549百万円増の6,662百万円（同9.0%増）となりました。

(ホーム産業事業)

当第3四半期累計期間の売上高は、木材保存薬剤の売上高が前年同四半期比3百万円増の587百万円（前年同四半期比0.6%増）となったことに加えて、その他が1百万円増の162百万円（同1.2%増）となり、全体では同5百万円増の749百万円（同0.7%増）となりました。

(品目別販売実績)

(単位：千円、%)

セグメント別	期別 区分	前第3四半期累計期間 2024年3月期		当第3四半期累計期間 2025年3月期		増減 金額
		金額	構成比	金額	構成比	
化学品事業	紫外線吸収剤	3,623,422	52.8	3,732,441	50.4	109,018
	写真薬中間体	182,010	2.7	188,098	2.5	6,088
	製紙用薬剤	155,571	2.3	193,200	2.6	37,628
	酸化防止剤	425,034	6.2	656,896	8.9	231,861
	電子材料	59,081	0.9	26,536	0.4	△32,544
	受託製造製品	1,617,752	23.6	1,818,586	24.5	200,833
	その他	50,395	0.7	46,533	0.6	△3,862
	(小計)	6,113,268	89.1	6,662,291	89.9	549,023
ホーム産業事業	木材保存薬剤	584,294	8.5	587,671	7.9	3,377
	その他	160,270	2.3	162,177	2.2	1,907
	(小計)	744,564	10.9	749,849	10.1	5,285
合計		6,857,832	100.0	7,412,141	100.0	554,309

(注) 金額は、消費税等を含んでおりません。

（2）当四半期の財政状態の概況

（資産、負債及び純資産の状況）

当第3四半期末（以下「当四半期末」という。）の総資産は、前事業年度末（以下「前期末」という。）比237百万円減少し、13,476百万円となりました。流動資産は同115百万円減の8,261百万円、固定資産は同121百万円減の5,215百万円となりました。

流動資産の減少の主な要因は、受取手形及び売掛金が135百万円、商品及び製品が261百万円、仕掛品が61百万円、その他の流動資産が161百万円それぞれ減少した一方で、現金及び預金が398百万円、原材料及び貯蔵品が120百万円それぞれ増加したことなどによるものであり、固定資産の減少の主な要因は、有形固定資産のその他（純額）が122百万円減少したことなどによるものであります。

当四半期末の負債は、前期末比315百万円減少し、8,718百万円となりました。流動負債は同184百万円減の6,013百万円、固定負債は同130百万円減の2,705百万円となりました。

流動負債の減少の主な要因は、短期借入金が261百万円、未払法人税等が35百万円、賞与引当金が49百万円、その他の流動負債が133百万円それぞれ減少した一方で、支払手形及び買掛金が125百万円、電子記録債務が173百万円それぞれ増加したことなどによるものであり、固定負債の減少の主な要因は、役員株式給付引当金が45百万円、その他の固定負債が133百万円減少した一方で、長期借入金が59百万円増加したことなどによるものであります。

当四半期末の純資産は、前期末比78百万円増加し4,757百万円となりました。純資産の増加の主な要因は、四半期純利益を96百万円計上した一方で、配当金の支払49百万円があったこと、自己株式が28百万円減少したことなどによるものであります。この結果、自己資本比率は35.3%となりました。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

世界経済は、米国経済が総じて底堅く推移しているものの、欧州及び中国経済の停滞が依然として続いていることに加えて地政学的リスクの沈静化も見込めず、全体として不安定な状況が続くと思われま

す。このような中、当第3四半期累計期間の業績は、2024年5月10日発表の通期業績予想に対して、売上面では大きく乖離することなく推移しております。利益面では、原材料高騰等の価格転嫁を引き続き実施していくとともにこれまでの実施効果も表れ、緩やかに改善する見込みであります。一層のコスト高が懸念されることも含めて利益計画達成については、予断を許さない状況が続くと考えております。

これらを踏まえ、現段階では通期業績予想の修正はいたしません。引き続き慎重に業績の進捗を判断し、適時に見直して参る計画であります。業績予想の修正を決定した場合には速やかに開示いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,882,862	2,281,307
受取手形及び売掛金	2,292,313	2,156,706
電子記録債権	94,723	75,796
商品及び製品	2,973,597	2,712,135
仕掛品	99,995	38,908
原材料及び貯蔵品	442,198	563,038
その他	595,690	433,998
貸倒引当金	△4,689	△503
流動資産合計	8,376,693	8,261,388
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	941,635	920,433
土地	2,861,042	2,856,882
その他（純額）	1,130,610	1,008,489
有形固定資産合計	4,933,288	4,785,806
無形固定資産	9,308	19,862
投資その他の資産		
投資有価証券	253,990	256,746
その他	155,145	167,160
貸倒引当金	△14,544	△14,274
投資その他の資産合計	394,591	409,633
固定資産合計	5,337,188	5,215,302
資産合計	13,713,882	13,476,690

（単位：千円）

	前事業年度 (2024年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	744,731	870,068
電子記録債務	404,960	578,937
短期借入金	2,850,000	2,589,000
1年内返済予定の長期借入金	1,030,000	1,025,625
未払法人税等	46,348	10,894
賞与引当金	96,456	46,848
その他	1,025,041	891,719
流動負債合計	6,197,538	6,013,092
固定負債		
長期借入金	1,827,500	1,886,875
退職給付引当金	576,212	560,682
役員株式給付引当金	45,523	—
従業員株式給付引当金	—	4,044
その他	387,506	254,303
固定負債合計	2,836,742	2,705,905
負債合計	9,034,281	8,718,997
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,155,352	2,155,352
資本剰余金	1,060,713	1,060,713
利益剰余金	1,517,732	1,564,637
自己株式	△205,013	△176,353
株主資本合計	4,528,784	4,604,350
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	150,816	153,343
評価・換算差額等合計	150,816	153,343
純資産合計	4,679,600	4,757,693
負債純資産合計	13,713,882	13,476,690

（2）四半期損益計算書
（第3四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期累計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）	当第3四半期累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）
売上高	6,857,832	7,412,141
売上原価	5,730,086	6,301,917
売上総利益	1,127,745	1,110,224
販売費及び一般管理費	747,634	786,492
営業利益	380,111	323,731
営業外収益		
受取利息	1	56
受取配当金	6,429	8,057
受取賃貸料	5,400	5,400
その他	9,635	8,120
営業外収益合計	21,466	21,634
営業外費用		
支払利息	53,151	52,782
生産休止費用	232,621	140,681
賃貸収入原価	344	344
その他	7,441	7,731
営業外費用合計	293,559	201,539
経常利益	108,017	143,826
特別利益		
保険解約返戻金	27,836	—
特別利益合計	27,836	—
税引前四半期純利益	135,854	143,826
法人税、住民税及び事業税	50,857	29,299
法人税等調整額	△8,164	17,751
法人税等合計	42,693	47,051
四半期純利益	93,161	96,775

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間（自2023年4月1日 至2023年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報
(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	化学品事業	ホーム産業事業	
売上高			
紫外線吸収剤	3,623,422	—	3,623,422
写真薬中間体	182,010	—	182,010
製紙用薬剤	155,571	—	155,571
酸化防止剤	425,034	—	425,034
電子材料	59,081	—	59,081
受託製造製品	1,617,752	—	1,617,752
木材保存薬剤	—	584,294	584,294
その他	50,395	160,270	210,666
顧客との契約から生じる収益	6,113,268	744,564	6,857,832
外部顧客への売上高	6,113,268	744,564	6,857,832
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	6,113,268	744,564	6,857,832
セグメント利益	650,470	44,625	695,095

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	695,095
全社費用（注）	△314,984
四半期損益計算書の営業利益	380,111

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期累計期間（自2024年4月1日 至2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報
（単位：千円）

	報告セグメント		合計
	化学品事業	ホーム産業事業	
売上高			
紫外線吸収剤	3,732,441	—	3,732,441
写真薬中間体	188,098	—	188,098
製紙用薬剤	193,200	—	193,200
酸化防止剤	656,896	—	656,896
電子材料	26,536	—	26,536
受託製造製品	1,818,586	—	1,818,586
木材保存薬剤	—	587,671	587,671
その他	46,533	162,177	208,711
顧客との契約から生じる収益	6,662,291	749,849	7,412,141
外部顧客への売上高	6,662,291	749,849	7,412,141
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	6,662,291	749,849	7,412,141
セグメント利益	604,108	49,999	654,107

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利 益	金 額
報告セグメント計	654,107
全社費用（注）	△330,375
四半期損益計算書の営業利益	323,731

（注） 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	308,226千円	300,496千円